

## >>>> 平成29年度第2回ものづくりIoT研究会を開催 <<<<

10月5日に、かごしま県民交流センターで平成29年度第2回ものづくりIoT研究会を鹿児島県IoT活用セミナー（産業立地課主催）と、下記のような内容で合同開催し、117名の参加がありました。

（一社）クラウドサービス推進機構理事長 松島桂樹氏の基調講演「事例に見る中小企業におけるIoT導入のポイント」では、中小企業がIoTを導入する時の留意点や導入の事例などをわかりやすく解説していただきました。

（株）イー・アイ・エス代表取締役 石岡和紘氏の事例紹介「つながる町工場の取組について」では自社で取り組んだIoTの事例を具体的に紹介していただきました。

企業紹介では（株）KISS様、（株）山形屋商事様、カマルク特定技術研究所（株）様により、IoTに関連する自社の取組や製品の紹介をしていただきました。

また、参加した方々への情報提供や相互の交流を図るため、会場内に企業や鹿児島高専IoTとドローン活用技術研究会、ものづくりIoT研究会等のパネルを展示し、情報交換の場としました。



研究会の様子

## >>>> 九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー <<<<

10月11～13日に、西日本総合展示場（北九州市）において、九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデーが開催されました。平成23年度から、今回で7回目の開催です。

今年度は環境・エネルギー専門見本市「エコテクノ2017」と併催して行われ、最終日は合同成果発表会が開催され、各方面から234名の参加がありました。

合同成果発表会では、新製品開発に成功した企業と公設試・産総研の研究者が、製品化プロセス、成功のポイント等を説明しました。当センターからは、食品・化学部の安藤義則研究専門員が、鹿児島県酒造組合 中玉利 豊氏とともに「離島への酵母安定供給を実現する乾燥酵母の開発」のテーマで発表をしました。

また、ポスター発表も以下の内容について同会場で行いました。

- (1) 静電気放電発生箇所可視化システムの低コスト化に関する研究
- (2) 廃糖蜜のカリウム回収技術の開発



商品化された乾燥酵母

>>>> 溶接法研究委員会（溶接学会）を開催 <<<<

11月1日に当センターにおいて溶接学会第240回溶接法研究委員会、JIW第12委員会及びJIW第212委員会が開催されました。この委員会は、各種溶接技術の実用化研究に主眼を置いて研究活動を行っています。今回は、地方への技術普及を目的として鹿児島での開催となりました。

地元からも多数の参加があり、溶接技術への関心の高さがうかがえました。（出席者：82名）

下記3件の口頭発表の後、当センターの研究成果紹介と溶接技術に関する装置等について所内見学を行いました。参加者からは、説明がわかりやすいと好評でした。

- (1) 「交流パルスGMA溶接における溶接安定化技術の開発」 (株)ダイヘン 近藤わかな氏
- (2) 「造船大組立ロボット溶接システムの開発」 (株)神戸製鋼所 定廣健次氏
- (3) 「鉄鋼材料の摩擦攪拌接合，線形摩擦接合—無変態で接合する—」  
大阪大学接合科学研究所 藤井英俊教授



講演会の様子



機械金属実験棟での見学の様子

>>>> セルロースナノファイバー（CNF）講演会を開催 <<<<

11月10日に当センターにおいて、「セルロースナノファイバー（CNF）の開発動向と今後の展開」と題して講演会を開催し、42名の参加がありました。

講演では、CNFの基礎知識や特性を生かした利用事例、応用展開の方向性、国におけるCNF実用化支援事業の取組と、特許情報によるCNFに関する国内外の開発状況などが紹介されました。

CNFは次世代のバイオマス素材として多くの分野で注目されていますが、今回の講演会においても様々な業種の企業から参加がありました。

講演後には活発な意見交換が行われ、参加者からは今後の製品開発において大変参考になったと好評でした。

講演内容は次のとおりです。

- (1) 「CNFの特徴と応用展開の方向性，CNF実用化支援事業の取組み」  
(地独)京都市産業技術研究所 北川和男氏
- (2) 「特許情報から読み取るCNFの展開」  
(株)旭リサーチセンター 松村晴雄氏



講演会の様子



>>>> 創立30周年の記念式典を開催、記念誌を発刊 <<<<

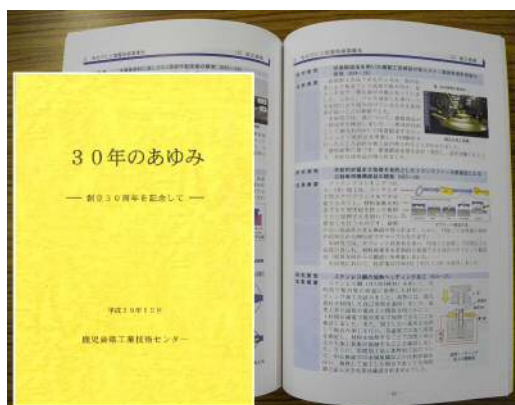
当センターは、昭和62年12月に工業系3試験場を現在地に再編統合し、この12月1日で30年を迎えました。これを記念して、創立30周年記念式典を開催するとともに記念誌「30年のあゆみ」を発刊しました。

式典は、鹿児島県工業倶楽部の岩元会長、鹿児島大学産学官連携推進センター知的財産部門の高橋部門長、かごしま産業支援センターの六反理事長を来賓にお迎えし、本県からは、商工労働水産部の五田次長が出席し、盛会に開催されました。

当センターは創立以来、県内企業の「技術の掘りどころ」を基本理念とし、県内企業のニーズや地域資源の活用、技術の高度化を念頭におきながら、技術支援や研究開発に取り組んできました。今後も、企業ニーズに基づく技術支援、技術シーズの橋渡しによる県内産業の振興、多様な連携によるものづくり支援の3つを業務の柱として、県内企業の活動を支援いたします。



30周年記念式典 所長あいさつ



記念誌「30年のあゆみ」

>>>> 創立30周年記念研究成果発表会を開催 <<<<

創立30周年を記念して12月1日に創立30周年記念研究成果発表会を開催し、口頭発表6件、ポスターセッション16件の発表を行いました。

県内企業の方々をはじめ各方面から113名の参加があり、参加者からは、当センターの研究内容や研究成果の試作品等に関心が寄せられ、活発な質問や意見が交わされていました。

発表会では、所長による工技センター30年の歩みと最近の成果事例紹介の後、第1部では、センターで保有する技術の紹介として、「金属流動の動的3次元可視化」および「シラスの全量活用技術の開発」を発表しました。第2部では、最近の研究成果として、「金属・セラミックス接合における活性金属成分の酸化抑制」、「CLT利用促進に向けた強度データの収集」、「芋焼酎の新たな

ガス除去法の開発と実証試験」の発表を行いました。また、交流を図っている宮崎県工業技術センターから口頭発表とポスター発表を、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所からはポスター発表がありました。



成果発表会（ポスターセッション）の様子